

# 第二モバイル型ストロンチウム除去装置の設置について

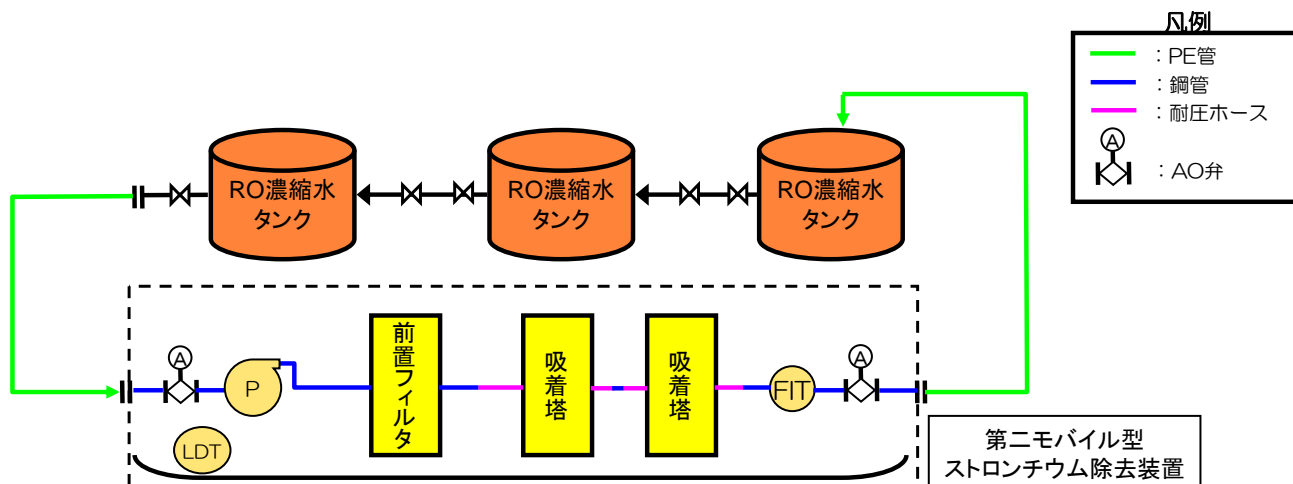
平成26年11月27日  
東京電力株式会社



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

## 第二モバイル型ストロンチウム除去装置設置の目的

- 当社は、敷地境界線量1mSv/年の達成及び汚染水貯留リスクの低減のため、平成26年度内にタンクに貯留している汚染水の浄化を進めている。
- RO濃縮水の浄化は、多核種除去設備（既設・増設・高性能）の他に、モバイル型ストロンチウム除去装置「A系統」（H26.10より処理開始）及び増設分の「B系統」（11月下旬実施計画申請予定）、RO濃縮水処理設備（実施計画申請中）等、多重的に進めており、その一環として第二モバイル型ストロンチウム除去装置を設置する。
- 装置概要
  - 1ユニットあたり、移送ポンプ、吸着塔（2塔）、配管、弁、計器）、移送配管で構成、放射性ストロンチウムを吸着塔で除去
  - 処理容量は、1ユニットあたり480m<sup>3</sup>/日（除染係数（目標）：10～1000）
  - ユニット内には漏えい拡大防止パンと漏えい検知器を設置



## 第二モバイル型ストロンチウム除去装置の主要仕様

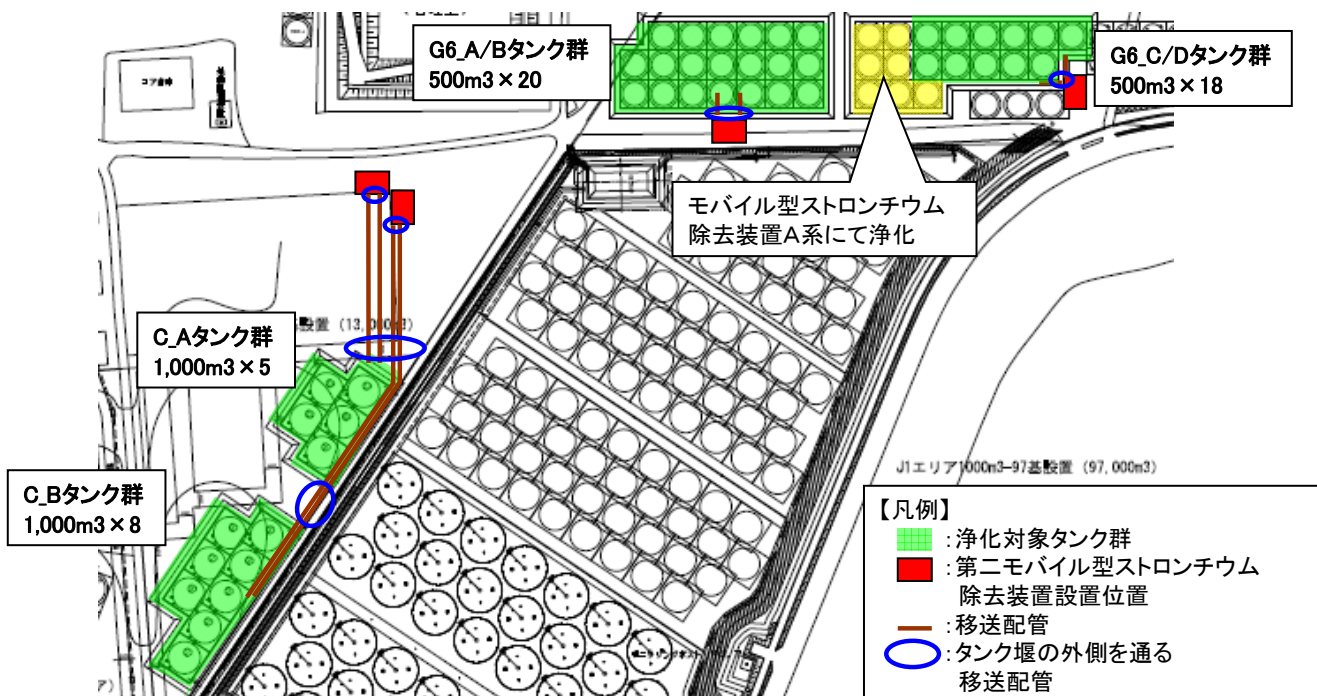
項目		内容
処理量		480m <sup>3</sup> /日/ユニット
ユニット数		4ユニット
除染係数※		ストロンチウムに対して10~1000（目標）
耐震クラス		Bクラス
廃棄物の保管	廃吸着材	吸着塔（鋼製）のまま，使用済セシウム吸着塔一時保管施設で保管

※ 汚染の原因となっている放射性物質が除染処理によって除去される程度を示す指標

## 第二モバイル型ストロンチウム除去装置の処理対象タンクおよび設置位置

### ■ 処理対象タンクおよび設置位置

- ◆ 処理対象タンクはC\_A、C\_B、G6\_A/B、G6\_C/Dタンク群とし，装置（ユニット4台）を各処理エリア近傍に設置する（下図参照）。
- ◆ G6\_C/Dタンク群については，モバイル型ストロンチウム除去装置A系と折半して浄化する計画とする。



# スケジュール

年度	H26				
月	11	12	1	2	3
第二モバイル型 ストロンチウム除去装置		実施計画			
			溶接検査／使用前検査		
		機器製造・設置工事			
				浄化運転	

- 第二モバイル型ストロンチウム除去装置は、12月上旬に実施計画変更申請、1月下旬からの浄化運転を計画